

☆☆ 地方選手権シリーズ 第1戦 もてぎ ☆☆

Class: 地方FS-125
Engine: IAME X-30
Frame: BIREL RY30S4
Tire: DUNLOP SL6

Mechanic: 川口 彰
田口 剛
監督代行: 足立 誠

RESULT

全14台
TT: 12位(40.4)
予選: 11位(40.2)
決勝: DNF(-)



全日本及び地方選手権もてぎ大会、お疲れ様でした。
メカニックをはじめ、チーム員、応援、サポートして頂いた方々にも
がっかりさせる内容だったので、本当に申し訳無く思います。

予選はスタート直後にコースアウト、決勝ではチェーンが切れて終わるという散々な内容でしたが、
決勝ではトラブルさえ無ければイケそうな感触もあっただけに、非常に残念な結果でした。
カートは道具を使うスポーツなのでこの結果を紳士に受け止めて邁進したいと思います。

【今年の意気込み・目標】

今年からエンジンをKT→X-30に変更、新品フレーム(BIREL 12モデル)を投入
気合タツプリで今年度をスタートさせました。

どうせヤルからには、ビックレースに出て勝ちたい！！という気持ちがあるので、今年の目標を
・X-30 Challenge特典でもある、「X-30 World Final in FRANCE」の招待権利獲得 とし、
X-30のデビューレースを「地方選手権もてぎ大会」に設定して、今大会に向けて準備して参りました。
目標は高い方が燃えるので、高いモチベーションで本レースに挑めたかと思えます。

【レース前まで】

X-30の初走行日は「周囲に対して2秒落ち」でしたが、走行回数を重ねるにつれてタイムも更新し
レースウィーク金曜日ドライ路面では、ほぼトップタイムが出せる所まで到達しました。

昨年までのKT(SSクラス)と大きく違う点は、

- ・タイヤ特性がBS SL07とDL SL6では大きく違う
 - ・スピードが速く、重いので、慣性力が大きくなり ちょっとしたミスでも顕著に現れる
- 以上の点を踏まえて、それらを生かす走らせ方をテストしました。

【レースウィーク 金曜・土曜】

ドライは金曜AMのみで、他はレインコンディション。

当日の天気は晴れだったので、レースに向けたテストはほとんど出来ず。

【公式練習】4位

ハーフウェットの状態だったが、スリックタイヤで走行。スリックを選択したマシンの方が速かった。

【TT】11位

グリップ感が無くミスも多かったのでペースが上げられず。

【予選】12位

スタート時のポジション取りをミスリ、前で絡んだマシンを避け切れず1コーナーでコースアウト
初歩的なミスで台無しにする。

その後走ったが、グリップ感も無くペースが上げられず。

【決勝】DNF

決勝に向けたインターバルの間に、何が原因で遅いのかを散々考えました。

原因は、「自分自身が乗れてない」、「グリップするラインを走っていない」という結論になり
セッティングはあまり変えずに決勝に挑みました。

スタート直後から感触が凄く良く、前をカートを次々に抜いていけたので『これはいける！！』と思った
が、何と1周目の複合でチェーンが切れてしまい楽しむ間も無くレースを終えてしまう。